

欧州部会

2014 年度久留米大学比較文化研究所欧州部会講演会 第3回 案内

記

演 題： 「ドイツ・メルケル政権の外交・安全保障政策」

講 師： 中村登志哉 名古屋大学国際言語文化研究科教授

略 歴： 名古屋大学国際言語文化研究科教授。  
同志社大学法学部卒、メルボルン大学（オーストラリア）  
政治学研究科博士課程修了。Ph.D（政治学）。  
専門は国際政治学（特にドイツと日本の外交・安全保障）。  
1960生まれ。共同通信記者、県立長崎シーボルト大学  
（現長崎県立大学）教授を経て現職。

業 績： 著書に『ドイツの安全保障政策：平和主義と武力行使』  
（一藝社、2007年）、共著に"Power transition and international  
order in Asia:Issues andchallenges"(Routledge,2013)  
訳書に『ドイツ統一過程の研究』（グレースナー著、青木書店、1993年）  
ほか多数

会 場： 久留米大学福岡サテライト教室  
（福岡市中央区天神 1-4-2 エルガーラ・オフィス6階）

日 時： 2014年12月5日（金） 15時00分 ～ 16時30分  
（含む質疑応答20分）

参加料： 無料

申し込み： 直接会場へおこしてください。

定 員： 先着順 80名